

環境建設工学科 在学生の声



孫 源峻 (そん うおんじゅん)さん

出身国・高校：大韓民国ソウル特別市

・東洋高等学校

コース：社会デザインコース

学年：修士1回生

大学生のライフスタイル

同じクラスの中で友達を作っていた高校生とは違って、まったく関わりのなかった他学部の学生と知り合いになって人脈を広げることができることが大学生活の特徴だと思います。また、留学生のウェルカムパーティの時に英語の授業を担当してくださった外国人の先生と友人のようにお話しできたことが良い思い出です。スポーツを教えてもらったり、おすすめのアメリカドラマを教えてもらったりして、他学部の同級生との繋がりとともに先生と学生の距離も

近いので、とても楽しいキャンパスライフを送ることができています。

大学の授業

私は1～2回生の時に、環境ESD養成講座という農学部の集中講義を履修しました。農学部の授業は土木と関係ないと思うかもしれませんが、この講座は我々が生活している社会が持続できるように、防災等の土木工学の視点に加え、農業・人文などの多様な学問を融合して住民とともに学ぶ形式の講義でした。この講義によって、土木工学の重要性を再認識し、専門分野に関わらず話し合える他学部の友達も沢山できました。

また、3回生の前学期に開講されている集中講義「ランドスケープデザイン」も印象的な講義でした。実際に大学に存在している建築物を自分たちで構想して、模型を作る内容でした。利便性、景観性、環境性などを考慮して作り上げた自分たちの模型を発表し、良い評価を得て東京で開催された学会で発表をする機会をいただきました。早い段階で学会という公式な場所を経験でき、とても勉強になりました。

卒論のテーマ

私は、岩盤工学研究室に所属し、卒業研究では天然ガスハイドレート貯蔵を想定した地下岩盤空洞の安定性評価に関する研究を行いました。大学院生になってからはメタンハイドレートの採掘に関する研究も進んでおります。現在は、さらに研究を推し進めるべく、多くの文献調査を行いつつ新しい研究結果が得られるように日々頑張っています。

環建ライフの良いところ

学部生だった4年間、様々な国から学びに来た留学生たちと触れ合うことができました。特に、環境建設工学科の各研究室には、多くの留学生が在籍しているので学科で学ぶだけでも異文化交流を楽しむことができます！これからは、アジア、アフリカなど様々な国から留学してきている友人たちの母国に行って、さらに交流を深めたいと思っています。

受験生の皆さんにメッセージ

受験生の皆さん，愛媛大学環境建設工学科には沢山の留学生がいて，英語を楽しく話せ，世界各国の友達を作れます。英語で話すことって，緊張してなかなかできないかもしれません。しかし，最初は英単語と日本語を混ぜて話そうとすれば何とか通じます。そして，日本人学生にとっては英会話を，留学生にとっては日本語を上達させられるので win-win の関係を築けます。このようなグローバル環境が環建にはあり，皆さんは勉学や課外活動を楽しむことができます。ぜひ，愛媛大学環境建設工学科で沢山の外国人の友達を作ってみませんか。この記事を見た皆さん，ぜひ話しかけてください。

「外国人だから，英語ではなさなきゃ」と思わず日本語でも全然大丈夫ですよ！